

2008.12.20

12月にちなんで **クリスマスの音楽と“第九”**

プログラム***

今日は12月ということで、近づくクリスマスにちなんだ音楽と最後は第九の“歓喜の歌”で締めくりたいと思います。最初の3曲はウィーンで行われたクリスマス・コンサートからですが、“クリスマス”はドミンゴ・ジュニアの曲で、ウィーンで作曲を学び、父のために歌曲も書いています。他の2曲は古くから伝わる良く知られた歌です。定番“アヴェ・マリア”と“四季”から3曲、クリスマスの夜を舞台にした“くるみ割り人形”、クリスマスの夜のために書かれた“クリスマス協奏曲”、最後は第九の終楽章“歓喜の歌”を聴いて2008年最後のCDコンサートを終わりたいと思います。来年は新しい趣向を取り入れながら、期待に添えるようなプログラムを考えて行きたいと思っています。よろしく御願い致します。

**“クリスマス・イン・ウィーン”から
ひいらぎとつたは (イギリスの古いクリスマス・キャロル)**

ナタリー・コール(ヴォーカル)/ホセ・カレラス(テノール)

クリスマス(プラシド・ドミンゴ・ジュニア)

プラシド・ドミンゴ(テノール)/ホセ・カレラス(テノール)

アメイジング・クレイス(アメリカ民謡)

ナタリー・コール(ヴォーカル)/プラシド・ドミンゴ(テノール)/ホセ・カレラス(テノール)

ヴジェコスラフ・ステージュ指揮ウィーン交響楽団

(1995.12.23 ウィーン市庁舎大広間でのLive)

**シャルル・クノー(1818~1893)/ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685~1750):
アヴェ・マリア**

プラシド・ドミンゴ(テノール)/マルチェロ・ヴィオッティ指揮ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団

(2002.2 ミラノ/グラモフォン盤)

ピョートル・チャイコフスキー(1840~1893):

舞踊組曲“くるみ割り人形” op.71a

1.小さな序曲 2.行進曲 3.こんべい糖の踊り 4.トレパーク(ロシアの踊り) 5.アラビアの踊り
6.中国の踊り 7.あし笛の踊り 8.花のワルツ

セルジュ・チェリビダッケ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団

(1991.2.10 ミュンヘン、ガスタイクホールでのLive)

*** 休憩 ***

ピョートル・チャイコフスキー(1840~1893):

“四季” op.37b から 10月秋 11月トロイカ 12月クリスマス

ウラジミール・トロップ(ピアノ)

(1995.10/DENON盤)

アルカンジェロ・コリルリ(1653~1713):

合奏協奏曲第8番ト短調 op.6-8 “クリスマス協奏曲”

イタリア合奏団

(1989.7/DENON盤)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827):

交響曲第9番ニ短調 op.125 “合唱付き” ~ 第4楽章より

山田一雄指揮京都市交響楽団/京都市立芸術大学音楽学部合唱団/デリョースカ合唱団

秋山恵美子(ソプラノ)/荒 道子(アルト)/田口興輔(テノール)/勝部 太(バリトン)

(1983.12.21 京都会館第一ホールでのLive)